

# 不適切な利用申し込み

## 市議会 市が運用ルール変更

東京 2. 9. 10

川崎市のスポーツセンターで、一つの団体が複数のグループカードを使って利用の抽選に参加する不適切な申し込みがあったと、19日の同市議会決算審査特別委員会文教分科会で矢沢孝雄議員（自民）が取り上げた。市側も問題を認め、ルールを変更し、公正性を確保するとした。

市市民スポーツ室によると、11月から新たなルールで運用するのは市内の5スポーツセンターとカルッツかわさき（川崎区）、とどろきアリーナ（中原区）の大体育室やアリーナなど。構成員全員が公共施設利用システム「ふれあいネット」に個人登録

し、他の団体名で重複登録していない場合に限り、抽選参加グループカードを発行する。

従来は抽選に当たりやすくするため、団体構成員が別の団体の代表者としてグループカードを取得し、1団体が複数の名義で抽選に参加する実態があった。今春、多摩スポーツセンター（多摩区）で新方式を試行したところ、団体登録数は約550団体から約350団体に、抽選会への参加数は月平均55団体から28団体に減ったという。同室の担当者らは「一定の成果が出た」とした。

（北條香子）

## 川崎市のスーポーツセンター